

南極通信

【全日制】第 6 号

R 7 年 1 月 27 日



南極授業ダイジェスト！

1月24日(金)南極授業「未来につなぐミッション～南極観測の世界～」を行いました。今回は南極授業を振り返りつつ、舞台裏を紹介します。

19広場から中継

今年の昭和基地は気温が高く、日中は4℃まで上がる日もありましたが、この時は-1℃。この中継の後、天気が荒れて風速25m/sほど(台風並み)の吹雪となりました。

タオルの演出は、“凍らない”ところを見せて、実はそこまで寒くないことをアピールしたかったのですが…。本番は少し凍ってしまいました。

無線の演出は、南極通信④で紹介した千葉さんに、声の出演をしていただきました。オープニング動画振り、お見事…！



海洋観測

見守り隊、多数！



毎年、南極観測隊が道中で行う5地点のモニタリング(採水・プランクトン採集)、「生物ポンプ」について授業を行いました。しらせにいらっしゃる海洋研究者の真壁さんから海洋観測の魅力について、「仲間と共に」という熱いメッセージをいただきました。海洋観測について初めて知った人もいます。海洋観測は研究のスケールが大きく、船上観測の現場は迫力がありました。ぜひ進路選択の一つに入れてください！また、原田隊長からは「出会いを大切に」という、こちらも熱いメッセージをいただきました。

↑スタジオの様子。実は裏にはお手伝い、見学にたくさんの隊員が。学校側のリアクションが分からない分、スタジオで盛り上げてくれました！

気象

気象庁の白田さんにご出演いただきました。気象分野のテーマとして、南極らしいオゾン観測を取り上げました。白田さんが持っていたオレンジのキャラクターの正体は…気象庁のマスコットキャラクター「はれるん」です！

毎年、気象庁から5人の越冬隊員が選ばれます。気象に興味があって、南極で越冬したい人はぜひ気象庁へ。白田さんの越冬への意気込みは「正確な観測データを取得し続ける」でした。仕事への責任感が感じられますね。



ペンギン・魚



ペンギンチーム密着取材の動画を見てもらいました。ペンギンの動画はたくさん撮っているので、帰国後にお見せします！

お魚チームから、リーダーの浅井さんにご出演いただきました。浅井さんは東京海洋大学の助教授で、越冬隊では観測主任を務められます。とても優秀な方です。浅井さんには南極で行う魚の研究方法の一つ、テレメトリーを紹介していただきました。また、南極での魚研究の意義について、「新発見だらけの魚の世界“現在”を理解し、“変化”に備える」とお答えいただきました。現在のことが分か

っていないと、“変化が起こった”ことに気が付けないということです。なるほど～。越冬期間中、どんな発見が得られるのでしょうか。頑張ってください！

スタジオに持ってきてもらったショウワギス。海底に生息するので、眼が上についています→



ミッション第一段階、達成？

南極観測は今回で66年続いています。続けているからこそ、過去と現在を比較して、環境変動が起きているか分かるのです。また、地球の現在や未来など、分からないことを“誰も分からないまま”にするのではなく、そこに挑んでいく観測隊の姿はとても魅力的です。南極授業を通して、それが伝わっていれば私の「南極観測の意義・魅力を次の世代に伝える」というミッションは第一段階、達成です。まだ引き続き、伝えきれていないことは南極通信や、帰国後にお話したいと思います！



質問ありがとう！

たくさんの質問、ありがとうございます！今、色々な専門家に答えを聞いているところです。とりあえず、今回は私に分かるものにいくつかお答えします。

Q:スタジオにあった3つの時計は何をさす？

A: 左から日本標準時、昭和基地、世界標準時を示しています。日本と昭和基地の時差は6時間です。(昭和基地の方が6時間遅い)



Q: バイオロギングのペンギンの動画で、ペンギンが食べていたものは何？

A: ナンキョクオキアミという大型のプランクトンです。ナンキョクオキアミは南極の生態系の中心となる生物です。ペンギンはナンキョクオキアミを食べているため、糞がピンク色をしています。



Q: 南極での1日の生活を教えて！

A: 朝ごはんは 6:30~7:30 に食べ、7:45~外でラジオ体操・朝礼があります。そのまま取材でいろんな人に同行させてもらいます。昼ご飯は 12:00、夜ご飯は 18:00 からです。毎食後、ミーティングがあります。南極授業の準備等を室内で行っていたときもありますが、基本的には外に出て、取材・観測支援に行きます。

Q: 水中ドローンを入れていた穴はどうやって掘っているのですか？

A: 大きなドリルで掘っています！ちなみに、お魚チームの観測ポイントの、海水の氷厚は約 3.5m、水深約 40mだそうです。



Q: 南極の空気はやっぱりきれいですか？

A: 吐く息は白くならないです。でも、車の近くによると、息が白くなります。大気観測をされている方に聞くと、やはり南極の大気中のエアロゾルはとても少ないらしいです。

Q: 観測隊の人は自由時間などあれば何をして過ごしているんですか？

A: 夏の時期は人が多く、ネット回線が混雑するため youtube などは見られません。また、基本的に忙しく、夜も明るいため、夕食後に働きに出られる方も多いです。ただ、宿舎に帰ってきたら、みなさん人のおしゃべりを楽しんでいます。昭和基地は日本に比べると不便なところですが、逆にこの不便さが、個人的には楽しい！

Q: どんなご飯を食べていますか？

A: 一番多い質問でした(笑)。日本から大量の冷凍食品や、常温で保存できる食材を持ってきたので、普通に日本とほぼ変わらないご飯がです。南極でしか食べられないものは…ショウワギス、南極の氷を使ったかき氷らしいです(私はまだ食べたことはありませんが…)。南極では食べられないものは…今は大丈夫ですが、越冬中は生野菜が食べられなくなります。あと、生卵。卵かけご飯は食べられません！右の写真は今日の昼ごはん「ソースカツ丼」。美味しかった！



☆まだアンケートに答えていない人は、ぜひ答えておいてください！

まだまだ南極通信は続きます！これからもお楽しみに！